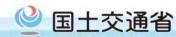
# 危機管理型水位計の概要



### 【目的】

洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を開発することで、これまで水位計の無かった河川や地先レベルでのきめ細やかな水位把握が必要な河川への水位計の普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

### 【特徵】

- 長期間メンテナンスフリー (無給電で5年以上稼働)
- 省スペース(小型化) (橋梁等へ容易に設置が可能)
- 初期コストの低減
  - (洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や 電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減)
  - (水位計本体費用は、100万円/台以下)
- 〇 維持管理コストの低減
  - (洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を 低減し、IoT技術とあわせ<u>通信コストを縮減</u>)

#### 開発された水位計の例



堤防に設置するタイプ (ケーブル(計測器)を河川に入れて計測)

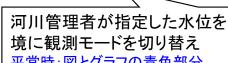


橋梁に設置するタイプ (電波や超音波で河川に触れずに計測)

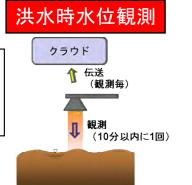
### 【水位観測方法】

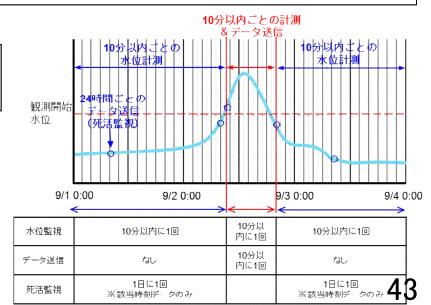
一定の水位を超過した時に観測モードを切り替え、 10分以内毎に水位データを送信。水位データはクラウドで閲覧可能。

### 



平常時:図とグラフの青色部分 洪水時:図とグラフの赤色部分





北海道 北海道

# 危機管理型水位計の観測水位の閲覧方法①





# 危機管理型水位計の観測水位の閲覧方法②





# 危機管理型水位計の観測水位の閲覧方法③





# 危機管理型水位計の観測水位の閲覧方法4

